

## 【魅力あるまちをつくろう！部会】今後の取組みに向けた区政会議での意見まとめ

番号	年月	会議	カテゴリー	区政会議での意見	重要項目	備考
1	H30.5	学習会	職員のeラーニング	地域を担当する職員のeラーニングの内容について、例えば「地活協って何？」ということなどを、クイズを待合で流したりすることにより地活協のPRに活用できるのではないか。		
2	H30.5	学習会	窓口サービスの業務目標達成状況	・受託者の満足度96%は高すぎるのではないかと感じている人が身近にいる。 ・1階の委託業者スタッフはサービスの一環として丁寧に対応していると認識しているが、2階の福祉申請手続きをしていると区役所職員の対応がよくないように感じる。		
3	H30.5	学習会	市民活動総合ポータルサイト	・最初の登録が面倒で、途中であきらめた経緯がある。 ・実際に登録しておく、月に2～3回、市内外問わず比較的若い人からボランティアしたいとメールの連絡が来るので、単発的にイベントにボランティア人材が必要な場合等はメリットがある。登録のしにくさを解消するため、Wi-Fiがある場所（例えば東淡路の区民会館）で登録のセミナー会等開催できないか。		
4	H30.5	学習会	魅力発見プロジェクト	参加者は歴史に関心ある人が多く、現在まち歩きのイベントが多くなっているが、東淀川検定など、まち歩き以外のイベントを考えていきたいし、みなさんも参加してほしい。		
5	H30.5	学習会	区民まつり	・「今年、区民まつりがかわる」ということをもっとPRしてほしい。 ・グラウンドの中で、模擬店・ステージ・盆踊り等していくのか。狭いのは。 ・自転車置き場は豊里小学校を借りたらどうか。 ・公園のトイレだけでは足りないのでは。 ・高齢者以外には子どもに楽しめるものとして目が行きがちだが、子どもとは切り離れた形で若い人も楽しめるよう、アルコールを提供したり、バンドを呼んだり、婚活パーティーしたりしてみてもは。 ・ステージについて、地域にたくさんあるダンス教室に声をかけたり、バンドを一般募集してみてもは。 ・ステージを盛り上げて、ステージイベントを中心に、みこしの負担を減らしてほしい。 ・車の乗り入れができなかったり、公園には駐車場がないのでは。駐車場について市営住宅へ協力依頼してみてもは。 ・そもそも実行委員の立ち上げから一般募集してみてもは。周囲で区を盛り上げるイベントに関わりたいという声を聞く。		
6	H30.6	部会	新たな担い手の発掘	・地域貢献したいが、働いている世代は休日でも仲間内でしか集まれないのでできることが限られる。PTA等の他の団体との連携がない。何ができるか、という議論の前にその土俵にあがっていない。できるものがやればよいとなると一握りの人がすることになり、仲間内しか連絡しなくなるため、他に情報がこない状態である。 ・豊新は保育園や介護の施設が多くある地域なので、それらの点々の活動をつなげる役割として地活が声かけて提案や協力してもらい、バザールのイベントをした。スタートは個人で活動していたボランティア活動が、地域で広げることができた。 ・ボランティアや地域貢献をしたい、という人はいるが、実際どう参加していいかわからないという人がいる。その人たちをどう取り込んでいくか、埋もれている人をどう発掘していくか、が問題である。地域に住んでいる人以外にも広げて発掘していかないと煮詰まっていく。一部世代交代しているが、地域の役員枠で人を回していると高齢世代が多く、地域のボランティアに若い人・新しい人を取り入れて回る仕組みを作らないといけない。		
7	H30.6	部会	コミュニティ回収	・目的がよくわからないし、地域の方の理解が深まっているとは思えない。 ・回収してくれない等、問題があった時にどこにいったいいかわからない。 ・コミュニティ回収でない、契約していない業者が一部マナーの悪い集め方をしているようだ。 ・制度が定着すると落ち着くが、出す方もわからないから、コミュニティ回収はこういう垂れ幕がある車という周知をし直した。		
8	H30.6	部会	町会単位の集団回収	町会が、時間・場所を決めて仕切っているところは財源になっている。町会が決めていないところはバラバラで分別できていない状態になっている。		
9	H30.6	部会	地域担当制	・地域担当制の活動のスタンスが変わったことを地域は認識しているのか。 ・震災時の避難所開設の際、よく知っている職員の顔でなく、また連絡待ちばかりで受け身に映り心細かった。指示がなく不安な気持ちになった。		
10	H30.6	部会	小学校のプール	小学校の屋上にプールが設置されているが、地震の際、水が入っていて大丈夫か、という声が地域であった。		

## 【教育・子育て部会】今後の取組みに向けた区政会議での意見まとめ

番号	年月	会議	カテゴリー	区政会議での意見	重要項目	備考
1	H30.5	学習会	4・5歳児就学前 子育て支援事業	学校・家庭では、子どもが発達障がいのケースかどうか判別が難しいので、発達障がいの子どもとの接し方について、啓発・周知し、相談しやすくすれば。		
	H30.7	部会		虐待ケース等も増えているので、対象である4・5歳児だけではなく、他の年代にも積極的に関わりを増やしていくべきだ。		
2	H30.5	学習会	子どもの 居場所	居場所づくりをしているボランティア側の支援をしていくことも大切。		
	H30.7	部会		・実施主体ごとに内容や回数などには違いがあるものの、広がりがあるので、地域でさらに広がり根付いたらよい。 ・地域の中で子どもの居場所づくりをどう広げていくか、また行政がどのようにサポートしていくかということが今後の課題。		
3	H30.5	学習会	中学生勉強会	中学生からでは遅いので小学校の高学年から参加できる機会がある方がいいのでは。		
	H30.7	部会		中学生・高校生・大学生がお互いに関わることで、子どもの自尊心が高まるのではないか。		
4	H30.5	学習会	絵本読み 聞かせ事業	読み聞かせの実施だけでなく、読み聞かせのボランティアの養成もしている。切れ目なくひろげて、取り組んでいただいているのでありがたい。		
5	H30.5	学習会	子どもの貧困	『家に朝ごはんがないのが当たり前』という子どもがいるが、子ども食堂などを通じて、それが当たり前ではないと感じ取る場を与えてあげたい。健全な生活習慣、生活に触れる中で、みんながつながる形にもっていきたい。		
6	H30.7	部会	こんにちは 赤ちゃん訪問事業	区民ニーズがさらに高まっているので今後も続けていくことが必要である。		
7	H30.7	部会	自尊感情 の向上	絵本の読み聞かせ事業、ゲストティーチャー派遣事業、体験型食育推進事業など、今までの取組みが繋がって少しずつ発展してきているのがよい。		
8	H30.7	部会	・自助・共助を担 う地域力のあるま ち ・「子育て」「共 育」のまち	定期的に地域でそれぞれの地域の特徴に合ったコミュニティづくりのアイデア（例えば地域における図書館・自習室・食堂などの機能）を出していくことが大事。		
9	H30.7	部会		大桐地域の「だいどうさん」キャラクターのように、地域のシンボリックなものを作って活用することにより、子どもたちの地域への愛着心が深まり、地域がますます活性化し、助け合い・思いやり・子どもの自己肯定感につながるのではないか。		
10	H30.7	部会	「子育て」「共 育」のまち	要保護児童との関わりや非行の防止など、課題のある子どもたちと関わっていけるような事業がもっとある方がいい。		
11	H30.7	部会	地域住民の 交流促進	地域の会議にPTAが参加する、学校行事に地域の方に来てもらうなど、一部の地域では既に行われていることを、他の地域と意見交換・情報共有できるような場所があればいい。		

## 【健康・福祉部会】今後の取組みに向けた区政会議での意見まとめ

番号	年月	会議	カテゴリー	区政会議での意見	重要項目	備考
1	H30.6	部会	要支援者対策	先日の震災時の対応に要支援者のリストが活かされたか検証し、今後の課題として対応策を検討していただきたい。		
2	H30.6	部会	今後の取組 ～新しい百歳 体操～	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在実施している百歳体操もいい取組であるが、新しい百歳体操はさらにすばらしい取組であると思うので積極的に進めてもらいたい。</li> <li>・この取組は、介護予防・認知症予防という観点からも有用な取組である。</li> </ul>		
3	H30.6	部会		運営場所の狭さや段差の存在などハード面の問題がある。また、専門的な資格を持たないボランティアで実施しているので、体の不自由な方が来られた時などに介助に戸惑うことが想定されるため、例えば地域包括支援センターの職員などの専門家のサポートがあればありがたい。		
4	H30.6	部会		サポーター養成講座に、体操の手技・手法だけでなく、安全に継続していけるように運営のノウハウについての内容も取り入れてほしい。		
5	H30.6	部会		取組を進めていくにあたり、保険加入も検討するべきではないか。		
6	H30.6	部会		資料について、例えば障がい認定を受けている人が多いことが東淀川区の弱みともとれるような表現がされていたが、むしろ制度が浸透しているという点で強みであるという見方もできるため、表現を変更した方がいいのではないか。		

## 【安全・安心部会】今後の取組みに向けた区政会議での意見まとめ

番号	年月	会議	カテゴリー	区政会議での意見	重要項目	備考
1	H30.7	部会	【防災】 自助	災害時は自己の責任により自らを災害から守る必要があることを認識し、自助の取組をもう一度周知徹底することが必要		
2	H30.7	部会	【防災】地域防災 役員の参集や地域 間の連絡体制	防災リーダーが不在、町会長も仕事で、連合単位だけでは難しかった。区役所と地域が連携して体制整備する必要がある。		
3	H30.7	部会	【防災】避難所・ 開設運営	・避難所が開設されたが、避難所がどこかわかってない人や開設されたことを知らない人が多い。地域住民主体の開設と運営について、日頃から事前学習のスケジュールを想定した訓練が必要である。 ・災害時にも避難所開設のアナウンスなど、青パトを走らせられると良かった。		
4	H30.7	部会	【防災】地域での 安否確認	・一部民生委員による安否確認があったが、気がついた人が動かないと声かけできていない。連絡体制が整わないと安否確認が困難であるため、区役所と地域とで連絡手段も含めてさらに深い対応というのが望まれる ・自助がまず優先されて、それから共助という流れで、福祉施設の職員による協力もあったが、人数が少ない場合は対応できないところが出てくる。		
5	H30.7	部会	【防災】通信機器	通信について電話は制限がかかり、無線も活用できなかったが、ラインやN T T安否メール等災害時に有効なものを活用する方向性作りが必要である。紙に書いて掲示板に貼るのが効果的に周知できてアナログも有効であった。		
6	H30.7	部会	【防災】児童生徒 の安全確保	学校と地域と区役所との連携を密にする必要がある。また、災害発生後に児童を家に帰すという対応は、二次災害の観点から危険であったのでは。		
7	H30.7	部会	【防災】帰宅困難 者対策	阪急沿線は今回の地震で帰宅困難者が多かったので、帰宅困難者対策はJ Rの新大阪だけでなく阪急沿線も必要では。		